

経営比較分析表（令和5年度決算）

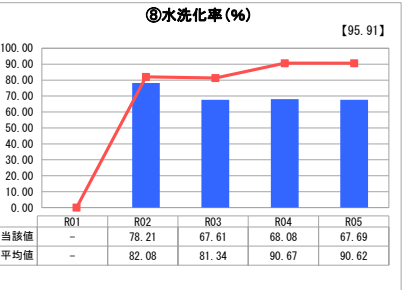
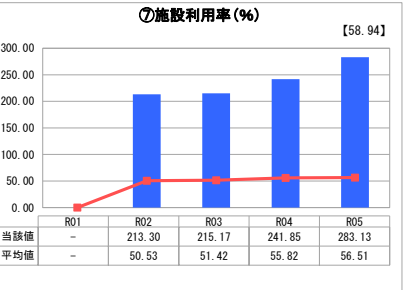
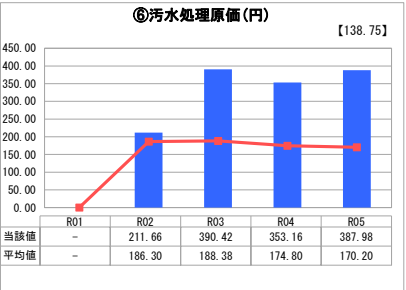
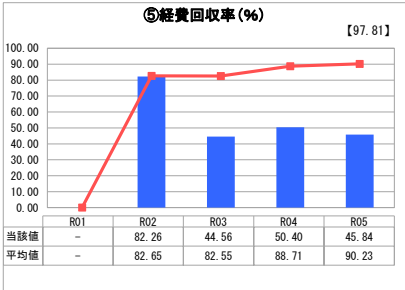
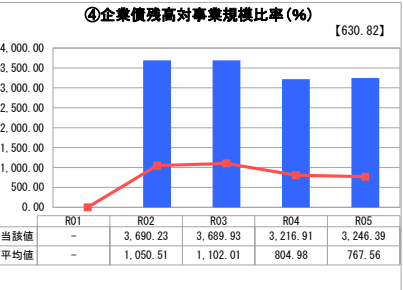
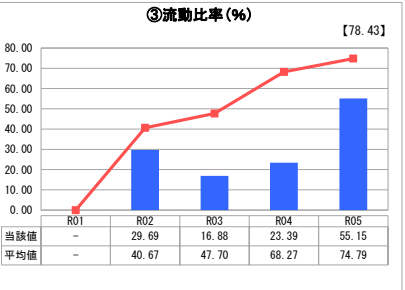
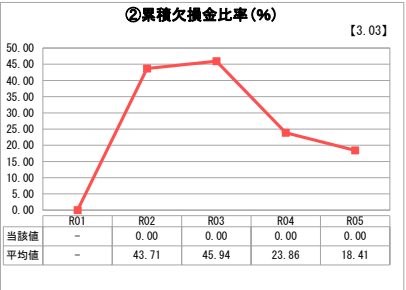
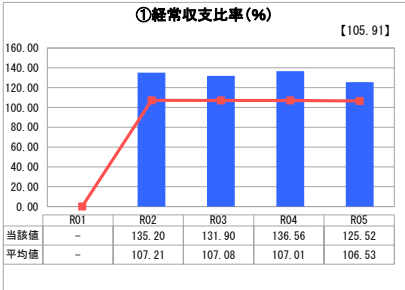
広島県 府中市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	51.04	32.47	100.00	2,541

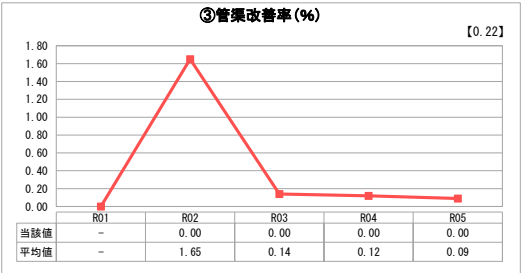
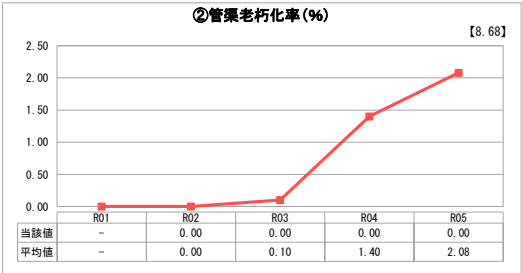
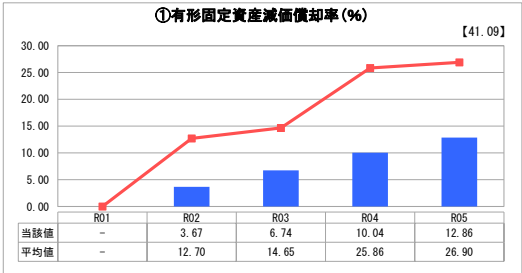
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,847	195.75	183.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,554	4.42	2,614.03

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①100%を超えて経営できているが、一般会計からの繰入金に依存している状況である。下水道使用料の改定も含めて経営改善を図って行く必要がある。
②累積欠損金比率は0%であり、健全な経営を確保している。
③100%を下回っているが、流動負債に含まれている企業債の償還財源は、一般会計からの繰入金により償還年度に確保されることから、支払能力は確保している。
④企業債残高対事業規模比率は、全国平均・類似団体平均より高い比率となっている。また、企業債現在高合計は、減少しているが、一般会計からの繰入金も減少しているため前年度に比べ増加している。
⑤経費回収率は、100%を下回っており、一般会計からの繰入金に依存している状況である。使用料で賄うために下水道使用料の改定も含め適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。
⑥汚水処理原価は、平均より上回っているため、今後も汚水処理費用の縮減に取り組む必要がある。
⑦府中市所有の処理場は上下地区のみを処理しており、府中地区は芦田川流域浄化センターへと流入している。上下地区のみの計画処理能力を示しており、現在晴天時平均処理量は府中地区、上下地区の合算となっているため、施設利用率が100%を大きく超える。公営企業前の施設利用率214%前後であったが、芦田川流域浄化センターへの流入量が増加した影響で令和5年度も増加傾向となっており。
⑧水洗化率は、平均よりも低いことから、下水道整備を実施しているところで今後も水洗化向上に取り組んでいきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は低く、適正な管理をしております。今後も資産の老朽化した設備の更新や長寿命化などに取り組んでいきます。
②③府中市は、耐用年数50年×1.5=75年を目標年数と定め、75年以内に管の状況を踏まえながら、計画的に更新していく予定です。

全体総括

府中市下水道事業は、一般会計からの繰入金に依存している状況であります。また今後、人口減少による下水道使用料の減少、施設の老朽化に伴う更新費用の増加も見込まれています。
今後は、下水道使用料の改定を含めて使用料単価の見直しなどの事業収支の改善に向けた取り組みや維持管理費の削減に務めることはもとより、ストックマネジメント計画に基づく計画的な改築、更新を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。